

B 日程 新規中卒者以外用参考問題

1 次の傍線部の漢字の読みがなをひらがなで書きなさい。

(1) 哀悼の意

(2) 潤いをもたせる

(3) 単身赴任

(4) 専ら読書にいそしむ

(5) 顔の輪郭

(6) 傍らにいる人

(7) 父の安否

(8) 髪を結う

(9) 敵かなたたずまい

(10) 逸脱した行為

2 次の傍線部のひらがなを漢字に直しなさい。

(1) いこいの一時を過ごす

(2) 音楽会で名曲をえんそうする。

(3) きけんな場所に近づくな

(4) せいけつな下着を着用する。

(5) いがいにもしろい人

(6) ふとしたきかいに思いました。

3 次の「」内の熟語と反対の意味の熟語をア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

(1) 「悪化」

ア 良好

イ 好転

ウ 改善

エ 改良

(2) 「簡素」

ア 複雑

イ 質素

ウ 贅沢

エ 豪華

4 次の意味を表す四字熟語を語群から記号で選び、■に当てはまる漢字を答えよ。

(1) 多くの人が口をそろえて同じことを言うこと。

(2) 一つのことと、同時に二つの目的を達成すること。

(3) 裏に深い意味が隠されていること。

(4) 古いことを学んで、新しい道理を発見すること。

語 群

ア 日常■飯

エ 異口同■

キ 意味■長

イ 温■知新

オ 一■二鳥

ク 言語■断

ウ 付和■同

カ ■柔不断

5 次の文章を読んであとの問いに答えよ。

双方が感想を述べあうだけの「□□」(のつもりの会話)は、日本ではよくあります。もちろん、二人が感想を述べあっているだけでも、それで二人が楽しんでいるのならそれはとてもよいことです。ところが、そういう会話をしているながら、双方が議論しているつもりで、相手を自分の意見と同じにしようとしているのなら、それは問題です。感想を述べるだけ(つまり、その感想を持つにいたった根拠などの説明なし)では、説得力がなく、議論はまず收拾がつかないからです。

A
感想を述べるだけで議論をしているつもりの人は、日本には多くいます。そして、こういう人が多く生まれる原因は、()、感想だけ述べて議論しているつもりの文章が、日本に多いことにあるのでしょうか。

B
「何を伝えようとしているかを、明確に示さない。最後に感想のような文で終わるものの、その感想は最後に突然登場するだけで、それまでの記述(見たことについての克明な記述)が最後の感想を支える形になっていない。つまり、伝えたいこと(思い、など)が核になっていてそれを支えるための記述、という形をとっていない」

C
こういう文章です。()、事実の伝達がずっと続き、最後に「前日に」が起こったことを思い出すと、どうしても楽しめる気持ちになれなかった」と書いて終わり、という具合の文章です。

D
このような書き方をする習慣が日本で疑問視されることなく広まっているのは、支えるものなしで「思い」が伝わると思ひ込みが、人々の根底にあるからなのだと私は思います。「言わなくともわかる」の思ひ込みが、「議論下手な日本人」の現状を生んでいる本体なのだと私は考えています。

(小野田 博一 『絶対困らない議論の方法』より)

(1) 傍線部□□に入る語句を文中より漢字二字で答えなさい。

(2) ()に入る語句として適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

イ すなわち ロ しかし ハ おそらく ニ つまり

(3) ()に入る語句として適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

イ そして ロ おそらく ハ たとえば ニ つまり

(4) 問題文の中で、次の文章が抜けているが、どこに入れるのが適当かA B C Dの記号で答えよ。

さて、「感想だけ述べて議論しているつもりの文章」の例ではありませんが、日本でよく見られる書き方に、軽いルポルタージュ(?)風の文書があります。それがどういう文章かというと、